

第 14 回
自治体国際交流表彰
(総務大臣賞)

受賞団体評価ポイント

総 務 省
一般財団法人自治体国際化協会

富山県（交流先：遼寧省（中華人民共和国））

《評価のポイント》

- ◇ 35年間地道に交流活動を継続して相互の信頼関係を築きながら、現在では活動分野が多方面・他分野にわたって広がっている点が評価できる。
- ◇ 両県省にお互いの「ファン倶楽部」が創設されていることは両県省の友好交流の成果であり、民間交流のためのネットワーク構築が促進されている点が評価できる。
- ◇ 奨学金制度による人材交流の充実や「日中経済協力会議」、「ものづくり総合見本市」の開催など経済交流の促進など、交流を深めていくための仕組みづくりに工夫が見られる。
- ◇ 両県省に将来の交流活動を担う若者を中心とした人材育成が進み、持続可能な活動へと発展していく可能性がみられる。
- ◇ 行政だけでなく、医療機関、教育機関、民間団体などの交流も行われており、交流のすそ野の広さが感じられる。



富山県と遼寧省との
交流と協力の深化に関する覚書締結



富山ファン倶楽部里帰りツアー

お問い合わせ先

富山県総合政策局国際課

住所：〒930-8501 富山県富山市新総曲輪1番7号

電話：076-444-3158

FAX：076-444-9612

E-mail：akokusai@pref.toyama.lg.jp

URL：http://www.pref.toyama.jp/

京都市（交流先：ボストン市（アメリカ合衆国））

《評価のポイント》

- ◇ 60年にわたって交流を継続されているだけでなく、交流内容についても様々な試みと工夫がなされ、交流の充実と発展を実現している。
- ◇ 「人材育成」と「ライフサイエンス」を柱として時代に合わせてテーマを設定することにより、文化・教育との交流を発展させるだけでなく、経済分野から政策分野、環境分野での連携を図るなど交流分野を拡大している点が素晴らしい。
- ◇ 記念事業では30以上の団体・企業・学校が主体的に参加するなど市民との協働を基本として交流をされており、姉妹都市間交流のさらなる活性化につなげるためのステップを示している。
- ◇ 周年を節目として、市民参加を促進し、かつ、時代や社会の変化に合わせて交流の方向性を確認する機会としている点は、他の自治体のモデルになる。
- ◇ 相手都市と共有する行政課題・地域特性を活かして事業運営ができていることは評価できる。



ボストン市庁舎での再調印式



ボストン子ども博物館での陶芸ワークショップ

お問い合わせ先

京都市総合企画局国際化推進室

住所：〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地

電話：075-222-3072 FAX：075-222-3055

E-mail：kokusai@city.kyoto.lg.jp

URL ： <https://www.city.kyoto.lg.jp/>

薩摩川内市（交流先：常熟市（中華人民共和国） 昌寧郡（大韓民国）

《評価のポイント》

- ◇ 約 9.5 万人の小さな都市が、財政的にも制約があるなか、国際的な面で努力されている様子は、大いに評価できる。
- ◇ 交流テーマが港湾、網引き、湿原といった地域特有の内容を取り上げており、他の自治体にも参考となる取り組みである。
- ◇ 長期間にわたって地道に交流を行っており、友好交流について市民の認知度も高く着実に交流の成果をあげつつある。
- ◇ 青少年交流も 30 年以上にわたって継続され、参加した学生が担い手として関わっているなど人材育成や国際感覚の醸成につながっている。
- ◇ 行政、文化、教育、経済面など交流が複層的に実施されている点や港湾貿易の促進により地域経済の活性化に取り組んでいる点も評価できる。



常熟市貿易調査団の川内港視察



昌寧郡公式団・靈山網引保存会の川内大綱引視察

お問い合わせ先

鹿児島県薩摩川内市商工観光部交通貿易課

住所：〒895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号

電話：0996-23-5111 FAX：0996-20-5570

E-mail: global@city.satsumasendai.lg.jp

URL : <https://www.city.satsumasendai.lg.jp/www/index.html>